

神山町の民間薬調査

生薬班（徳島生薬学会）

村上光太郎¹⁾・大庭 信行¹⁾・敷島 康普¹⁾
 菅 愛¹⁾・湯谷 あき¹⁾・溜本 公子¹⁾
 藤田 玲子¹⁾・森下 尚¹⁾・近藤 敏宏¹⁾
 多田由紀子¹⁾・Norashikin Abdullah¹⁾
 好井 翠¹⁾・清水 裕子¹⁾・桐間 一嘉²⁾
 今林 潔¹⁾・伏谷 秀治³⁾・川添 和義¹⁾
 高石 喜久¹⁾

1. 目 的

民間薬は古い時代に作られ、伝承されるのみで、変化しないもののように考えられがちである。しかし現実の民間薬はそこで生活している人たちの要求（必然性）によって常に変化していくもので、固定したものではない。すなわち生活環境の変化、マスメディアや各種の教育・講習等、時代の影響を受けて変化するのである。

しかし、その実態を現実に時代を越えて調査された報告は見られない。

幸運にも、今回の調査地である神山町は、1975年4月3～7日および7月28日～8月2日の2回、既に民間薬調査がされた地域で、その内容はまとめて既に報告されている^{1, 2)}。それから24年後の今日、同一地域を調査することで、民間薬の使用や認識の現状を把握すると共に、民間薬の時代的な変化を知ることを目的とした。さらに伝承されている民間薬の中には、新しい医薬品の素材となる可能性を秘めているものもある。そのため、伝承されている民間薬を記録として後世に残すことも目的とした。

2. 調査日と調査方法

1999年7月31日から8月6日までの7日間調査を行った。

民間薬の調査の方法は、各家を訪問し、在宅の人、畑等で仕事をしている人、道を歩いている人にかかわらず、民間薬（手薬）について使用あるいは認識している現状について、聞き取り調査をした。

過去における民間薬の調査で、調査員により、詳しく聞く者と、そうでない者の差が認められたので、今回は後記のように質問方法のマニュアルを作り、それに従って行うこと

1) 徳島大学薬学部 2) 徳島大学医学部 3) 徳島大学付属病院薬剤部

とした。特に今回は動物に使う薬（動物用薬）については、必ず聞くこととした。

また、訪問日や訪問時間を決めて先に各家に通知して置き、調査する方法もあったが、いつでも緊急時に使える生薬ではない、薬草の本やパンフレットを覚えて教えてくれる危険性があるので、突然の訪問という形態をとった。

●質問マニュアル●

- 1) 道ばたの人、働いている人、家にいる人にかかわらず、人を見ると調査対象とします。
- 2) 最初に、徳島大学薬学部の者ですが、阿波学会の調査の一環として民間薬調査をしています。ご協力をお願いしますと言って下さい。
- 3) 調査は、知っている民間薬、使ったことのある民間薬をたずねて、教えてもらう方法を取ります。名前を知っているだけ、人から聞いただけでも良いので教えてもらって下さい。良く効いたというのがあればそのことを記載して下さい。
- 4) ただ民間薬と言っても解らないことがありますのでその場合は、傷には何か付けませんかとか、やけどには何か付けませんか、腹が痛いときはどうしますかなど実際の症状をあげて聞いて下さい。
- 5) それらの民間薬をほぼ聞き終わったと感じたら、さらに、重複しても良いので、特に動物を薬として使用するものがあるかどうか聞いて下さい。
- 6) 言われている民間薬が、自分たちの思っているのと同じでないと感じたときは、必ず、現物をもろうようにして下さい。
- 7) さらに、植物や動物以外で薬になるものがあるかどうか聞いて下さい。例えばショウユやミソなどの加工品、石などの鉱物などで効くものがあるかどうか。
- 8) これらをすべて聞き終わったら、今度は犬や猫、牛などの家畜、ニワトリなどの小動物が病気になったときに使う薬を聞いて下さい。
- 9) これらすべてを聞き終わったら終わりです。
- 10) ありがとうございますと言って帰って下さい。

3. 調査結果の集計

留守の場合、民間薬は知らないと答えて、それ以上の質問に答えてくれない人も多く、地域にもよるが、2～3割の家庭で回答が得られなかった。結局有効回答を得られた人のみを調査対象者として計上した。その結果、調査対象者数は469人であった。ただし、同時に二人以上の人から聞いた回答は一人として取り扱った。前回1975年の調査では、春と夏の2回を合わせて489人の回答を得ている。したがって、今回と前はほぼ同じ数の回答者となり、結果の比較は意味があるものと思われる。

4. 調査データの処理

今までの調査では、現地で得られた効果・効能をなるべく生かす形でまとめていたが、今回は、前回との症状・病名・用途等の比較のため、実際に調査で得られたデータの読み換えを行った。

それらの一例をあげると、

実際に回答として得られた症状	記録に残した症状（処理後の症状）
イライラ	精神不安
オシッコを出す	利尿剤
くい抜き	^{とげ} 刺抜き
しんどい時	疲労回復
ゼーゼー	呼吸困難
タコの日	^{たこ} 胼胝
毒くだし	解毒剤
ねづめ	^{ふかづめ} 深爪
ネプト	おでき
マムシにかまれた	マムシの傷
マムシ刺され	マムシの傷
みみご	外耳炎・中耳炎
ムカムカ	胃炎
栄養価が高い	栄養補給

などの様に整理し、比較検討を行った。

5. 調査結果

調査では植物192種、動物42種、鉱物その他6種の総計240種が得られ、動物用薬では、植物12種、動物2種、鉱物その他6種の20種が得られた。前回の調査では植物196種、動物52種、鉱物その他7種の総計255種が得られ、動物用薬では植物4種、鉱物その他は4種で、動物原料の動物用薬は見られなかった（表1、2）。

以上のように、薬用となる植物、動物、鉱物その他の種類数に注目するかぎり、時代の経過による民間薬の変化は余り見られないかのような結果が得られた。

今回の調査と前回の調査で共通して見られた種類は、植物では128種、動物では33種、鉱物その他では4種であった。これは植物で66.7%、動物で78.6%、鉱物その他で66.7%、全体で68.8%の割合となる。

今回の調査では見られたが、前回の調査では見られなかった種類は、植物では64種(33.3%)、動物で9種(21.4%)、鉱物その他では2種(33.3%)であった。これは得られた民間薬全体の31.2%に当たり、約3割の種類が新たに加わったことになる。反対に1975年の調査で見られたが、今回の調査で見られなかった種類は、植物では68種、動物では19種、鉱物その他では3種であった。動物種の減少が目立つが、他はほぼ減少分が新しい生薬の出現分となっている。このことは、同一地域で語り継がれている民間薬の約3割は、時代と共に変化しているのだという驚くべき結果を示している。

突然訪問し、知っている薬、使った事のある薬について調査したので、実際は知っていたが、即答できず、回答しなかったという人が居る可能性もあるが、それは今回にも前回にも言えることなので、急な時に使えるという民間薬の使命から考えると、この差は時代的な差といえる。

今回は動物に対して使う動物用生薬について、必ず質問するようにしたので、20種類、と多くの回答が得られたが、植物原料で前回と共通して得られた薬は3種(25%)、今回の調査で新たに得られた薬は9種(75%)、前回のみ見られた薬1種(8.3%)であった。動物原料で前回と共通して得られた薬はなかったが、今回の調査で新たに得られた薬は2種あった。鉱物その他を原料とするものは、前回と共通して得られた薬は2種(33.3%)、今回のみ得られた薬は4種(66.7%)、前回のみ得られた薬は2種であった。

今回の調査で、ジョウゴとして記載された植物が、ヒヨドリジョウゴ、ジャノヒゲ、ハトムギ、ジュズダマのいずれか不明である場合、イシャダオシと言われた植物がゲンノシヨウコかドクダミか不明の場合、が見られた。多くの場合、ジョウゴはヒヨドリジョウゴ、イシャダオシはゲンノシヨウコの実物を見て確認の上記載しているが、これは実物を見ずに名前だけ記載したもので、しかも聞いた植物の形態の記載から判断すると、他の種類である可能性がある。今までの調査でも同名異物が見られることはあったが、調査の過程で植物名が判明する物が多く、今回の調査のように同定不可能なものは出現しなかった。すべての種類で実物を確認しながら調査することは時間的に無理であり、このような調査の

表1 出現種数

	植 物	動 物	鉱 物 其 他	総 計
共通に出現した種類	128	33	4	165
今回新たに出現した種類	64	9	2	75
前回出現したが、今回見られなかった種類	68	19	3	90
今回の総数	192	42	6	240
前回の総数	196	52	7	255

表2 出現種数(動物用薬)

	植 物	動 物	鉱 物 其 他	総 計
共通に出現した種類	3	0	2	5
今回新たに出現した種類	9	2	4	15
前回出現したが、今回見られなかった種類	1	0	2	3
今回の総数	12	2	6	20
前回の総数	4	0	4	8

難しさを改めて感じた。

回答における各種類の出現回数（表7、8、9、10、11、12に今回の出現回数と前回の出現回数を併記した）を見ると、植物ではドクダミ375回、ヨモギ251回、ゲンノショウコ234回、アロエ188回、センブリ127回、ビワ126回、オオバコ101回、ウメ89回、ユキノシタ68回、フキ59回、カキノキ57回、イタドリ51回、ウコン49回、ホウセンカ47回、シラカシ37回、キンカン35回、スギナ35回、マタタビ35回、コフキサルノコシカケ32回、ダイコンソウ29回、カリン27回、シソ（アオジソを含む）27回、イワタバコ26回、ツワブキ26回、タラノキ21回、タンポポ21回、オウレン20回、アマチャヅル18回、キハダ18回等が多い植物であった。今回新たに出た種類で出現回数の多いものはウコン、カリン、アマチャヅル、モロヘイヤなどである。

同様に、前回の出現回数の多い植物を見ると、ドクダミ337回、ゲンノショウコ250回、アロエ231回、ヨモギ227回、センブリ203回、オオバコ199回、イタドリ163回、コフキサルノコシカケ129回、フキ115回、ダイコンソウ112回、イワタバコ87回、サイシン78回、ナンテン75回、ユキノシタ70回、クコ68回、オウレン54回、ウメ51回、シラカシ47回、カキノキ40回、ハコベ39回、スイセン36回、タンポポ31回、オトギリソウ31回、サフラン31回、シイタケ29回、ビワ28回、キンカン28回、ヤマゴボウ28回、ウツボグサ27回、ウド27回、トウモロコシ26回、マツ26回、ヒトツバ26回、アザミ25回、キササゲ24回、ツワブキ23回、タラノキ22回、キハダ22回、ウラジロガシ22回、ザクロ22回、クチナシ21回となっていた。

これらのことから、ドクダミ、ゲンノショウコ、アロエ、ヨモギ、センブリ、オオバコは時代の変化にかかわらず、上位を占めており、前回の上位11位までの薬草は、今回も出現回数が比較的多かった。

今回比較的多く出現したビワ、ホウセンカ、キンカン、スギナ、マタタビ、シソなどは、前回は今回に比べて少ない回数しか出ておらず、時代的な背景がうかがえる。特に今回多いビワは、ビワの種子が^{がん}癌を含めた多くの疾病に有効であるとの伝聞が広まった結果によるものである。また、ウメやカキノキが多くなっているのは、主婦や農協の人たちが消費拡大のために行った講習会などの努力によるものであろう。

前回比較的多く出現したサイシン、ナンテン、クコ、オウレン、ハコベ、スイセンが、今回は少ない回数しか出てこなかったのは、胃腸系の薬として使用されていたこれらが、同様の効能の薬は病院や薬局で簡単に手に入るので、使用回数そのものが少なくなった結果と思われる。またスイセンのように毒性のある薬は使用されなくなって、新薬中心の現代医療にまかされている現実によるものであろう。イタドリ、ダイコンソウ、イワタバコ、フキも減少していた。

今回新たに出たウコン、カリン、アマチャヅル、モロヘイヤなどは、近年社会で話題に

なった生薬であり、神山町に根ざした生薬とはいえない。

前回に見られた種類で、今回見られなかったものは、シャクナゲ、マツタケ、フユイチゴ、ノイバラ、ネムノキ、サクラ、キャベツ、イヌタデなどである。これらは、使用頻度が少ないため、記憶から消えていったものと思われる。また、シャクナゲは毒性があるので、使用されなくなったものと思われる。

前回と今回の出現回数の差を、出現回数の少ない方の数で割って、100倍した値でみると、その値が、キランソウ、スイセン、ショウブ、アザミ、ザクロ、アララギなど、非常に大きい（1000以上）グループがある。次いでフキ、スギナ、ヤマゴボウ、イチヨウ、アオツヅラフジ、セキショウ、ニワトコ、ハブソウなど、800以上の種類が続き、さらに、ノキシノブ、スイバ、ホウセンカ、シイタケ、サンショウ、マタタビなど、600以上のものが続く。そして、ナンテン、サイシン、ナス、クコ、ウラジロガシ、オモト、サフラン、センダン、ダイダイ、タバコなど、400以上のものが続く。これらの種類は時代的な影響を受けやすい種類といえる。

出現回数が前回、今回ともに比較的多く、かつ、この値の小さい種類を、この値、今回の出現回数、前回の出現回数を付けて示すと、トウモロコシ（100、13、26）、オオバコ（97、101、199）、ウメ（75、89、51）、センブリ（60、127、203）、タンポポ（48、21、31）、カキノキ（42、57、40）、シラカシ（27、37、47）、アロエ（23、188、231）、キハダ（22、18、22）、ツツブキ（13、26、23）、ヨモギ（11、251、250）、トチバニンジン（9、11、12）、ゲンノショウコ（6、234、250）、タラノキ（5、21、22）、ユキノシタ（3、68、70）、シソ（0、14、14）となる。これらは、いつの時代も変わらぬ愛着を得ている種類といえる。

一方、動物で出現回数が多いのは、今回はマムシ254回、タヌキ75回、ミミズ21回、イノシシ21回、クマ18回、サル17回、ムカデ16回、ナメクジ7回、ニワトリ6回、ウシ3回、カエル3回、カタツムリ2回、コイ2回、サンショウウオ2回、カニ2回、ウサギ2回、ヘビ2回、キツツキ2回、アシナガバチ2回、ヒドリガモ（アカガシラ）2回などであり、前回の出現回数が多いのは、マムシ372回、ミミズ112回、タヌキ44回、ナメクジ27回、シマヘビ24回、ムカデ16回、ウシ16回、カタツムリ15回、コイ15回、サル14回、イセエビ13回、ニワトリ11回、モグラ11回、カエル10回、カマキリ10回、カワガラス9回、ミツバチ9回、イノシシ8回、クマ8回、サンショウウオ7回、メジロ7回である。

マムシやタヌキは前回も今回も出現回数が多かったが、前回多かったミミズやナメクジ、シマヘビ、コイ、カタツムリ、ウシ、イカ等は今回は減少し、前は比較的少なかったイノシシ、クマが多くなった。ムカデ、サル、ニワトリなどは、前回も今回も同じように出現した。

差が大きい動物は、シマヘビ、イセエビ、モグラ（以上、前記の値が1000以上）、ミツバチ、カワガラス（以上800）、コイ、カタツムリ（以上600）、ミミズ、ウシ、ドジョウ、カラス（以上400）などであった。一方、出現回数が多く、前回と今回で出現回数の差の少ない動物は、タヌキ（70、75、44）、マムシ（7、254、372）、サル（2、17、14）、ムカデ（0、16、16）などであった。今回のみ見られた動物は、出現回数はヒドリガモ（アカガシラ）2回が最高で、他はすべて1回だけの出現であった。しかし、前回のみ見られた動物は、カマキリ10回、メジロ7回、タニシ3回、ヒト2回、ナマズ2回など、いずれも複数回の出現があった。

動物用薬を見ると、今回多かった植物はトウガラシ14回、マタタビ8回、アセビ7回、ウメ6回、ビワ5回であり、前回多かった植物もトウガラシ6回、アセビ6回、マタタビ2回であった。回数は違うが、前回も今回もトウガラシ、アセビ、マタタビが多く得られたことになる。これらは、動物用薬として良く知られている種類である。今回は、特に全員が動物に使用する薬を聞いたためか、ウメ6回、ビワ5回等と共に、回数こそは1回しか出ていないが、オヘビイチゴ、ドクダミ、ナス、ニガキ、ノキシノブ、ヨモギなどを動物に使うという新しい知見が得られた。なお、動物の病気に動物性の薬を使うという過去の報告は見当たらず、今回初めて、マムシ3回、キジ1回が得られた。回数は少ないものの、特筆すべき使用例であろう。

次に、今回の調査と、過去の各町での調査を比較してみた（表3、4、5）。調査対象者数に差があるが、神山町は他の町よりも出現率（調査対象者に対する出現数の割合）の高い種類が多かった。

また、ドクダミ、マムシ、ヨモギ、ゲンノショウコ、アロエ、センブリ、オオバコは、各町とも出現率が高かった。

表3 調査場所と調査年、調査対象者数

調査場所	調査年	調査対象者数(人)
日和佐町	1996	157
井川町	1997	249
穴吹町	1998	305
神山町	1999	469
神山町	1975	489

表4 神山町で今回多く出たが、他町では少なかった民間薬

種類	神山町	他町
ビワ	26.9%	井川町 11.2%
ウメ	19.0%	井川町 12.9% 穴吹町 8.9% 日和佐町7.6%
タヌキ	16.0%	
フキ	12.6%	日和佐町7.6% 井川町 5.6%
ウコン	10.4%	
ハウセンカ	10.0%	

表5 神山町で今回少なかったが、他町では比較的多かった民間薬

種類	神山町	他町
ウラジロガシ	0.9%	日和佐町13.4% 穴吹町 7.2%
オトギリソウ	1.7%	穴吹町 14.4% 井川町 11.2% 日和佐町 8.9%
ミミズ	4.5%	日和佐町11.5% 穴吹町 8.5% 井川町 7.2%
アカネ	0%	日和佐町 9.6%
カンアオイ	0.4%	日和佐町 7.6%
タデ	0%	日和佐町 7.6%
ヒジキ	0%	日和佐町 6.4%
ナンテン	2.3%	井川町 6.4%

神山町に特異的な民間薬と思われるものに、ビワ、ウメ、ウコン、フキ、タヌキ、ホウセンカなどがあり、他の町と比較して神山町での使用が少ないものに、ウラジロガシ、オトギリソウ、ミミズ、アカネ、カンアオイ、タデ、ヒジキ、ナンテンなどがあつた（表6）。

表6 良く用いられている民間薬の出現率の比較

（ ）内の単位は%

	日和佐町・1996年	井川町・1997年	穴吹町・1998年	神山町・1999年
50%以上		ドクダミ (61.4)	ドクダミ (82.2)	ドクダミ (80.0) マムシ (54.2) ヨモギ (53.5)
30～50%	ゲンノショウコ (40.1) ドクダミ (36.3) マムシ (33.8) アロエ (32.5)	ヨモギ (31.3) アロエ (30.9)	マムシ (41.0) アロエ (40.7) ヨモギ (38.0) ゲンノショウコ (36.7)	ゲンノショウコ (49.9) アロエ (40.1)
20～30%	オオバコ (28.7) ヨモギ (28.0)	ゲンノショウコ (29.3) マムシ (24.5) ユキノシタ (22.1) センブリ (20.1)	オオバコ (24.6) センブリ (24.3)	センブリ (27.1) ビワ (26.9) オオバコ (21.5)
10～20%	センブリ (19.1) ウラジロガシ (13.4) ミミズ (11.5) カキノキ (10.8)	オオバコ (16.9) ウメ (12.9) カキノキ (12.9) イタドリ (12.4) オトギリソウ (11.2) ビワ (11.2) スギナ (10.0)	ユキノシタ (19.7) オトギリソウ (14.4) ビワ (13.8) マタタビ (12.5)	ウメ (19.0) タヌキ (16.0) ユキノシタ (14.4) フキ (12.6) カキノキ (12.2) イタドリ (10.9) ウコン (10.4) ホウセンカ (10.0)

6. 結 論

神山町における民間薬は、24年の経過とともに、総数には余り変化がないものの、その約1/3が新しい物に入れ替わっていることがわかった。すなわち、同一地域で語り継がれている民間薬の少なくとも約3割は、時代と共に変化しているという驚くべき結果が得られた。

神山町は他町よりも出現率の高い民間薬が多いことから、民間薬に対する関心が高い地域であるといえる。

ドクダミ、マムシ、ヨモギ、ゲンノショウコ、アロエ、センブリ、オオバコの7種の民間薬は、時代や地域を越えて広く用いられている民間薬であると考えられる。また神山町の調査で、前回の上位11位までの薬草は、今回も出現率が比較的高かった。このことから、良く知られている、あるいは使われている民間薬は余り変化しないものであることがわかる。

動物用薬としては、トウガラシ、アセビ、マタタビが有名であり、今回初めて、マムシ、キジのように、動物の病気に動物性のものを使うという珍しい使用例が得られた。またオヘビイチゴ、ドクダミ、ナス、ニガキ、ノキシノブ、ヨモギなどを動物に使うという新しい例も得られた。

参考文献

1. 東丈夫・名越規郎・村上光太郎・伴裕子・矢野美都穂・米沢恵子. 神山町の民間薬. 郷土研究発表会紀要, 第22号, 213~231 (1976)
2. 村上光太郎・牛尾和道・山脇一郎・田中敬子・米沢恵子・高橋弘和・森本志津代・古川彰子・松村泰子・北代峰子・伴裕子・加地由照・梶田康乃・井沢博子・大森泰子・今本久美子・宮崎佐智子・矢野美都穂・川端典義. 神山町の民間薬調査. 徳島大学薬学部植物研究部年報 (1975)

表7 神山町で得られた植物由来の民間薬

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
アオキ	アオキ	葉	足の痛み・おでき・出来物	焼いて張る	1	1
アオジソ	アオジソ	葉	のどの痛み・糖尿病・心臓病・動脈硬化予防・血流改善・栄養補給・疲労回復・滋養強壮・解熱	乾燥後、茶代用・4枚位を湯につけて服用・クエン酸を加えジュースにして服用・焼酎漬 ^{しゅうちゅう} け・ハチミツと黒酢に漬ける・食べる・粉末を使う	13	4
アオツツラフジ	ツツラカズラ	こぶ・つる	神経痛	乾燥後、煎 ^{せん} じて服用	1	9
アカザ	キギ	全草	ろく膜炎	黒焼を服用	0	1
アカネ	アカネカズラ	根	風邪	乾燥後、煎じて服用	0	1
アカメガシワ	アカメガシワ	樹皮	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・胃癌	乾燥後、煎じて服用	1	4
アケビ	アケビ・アキユウザ・アキウド・アキユウゾ	全草・つる	りん病・じん臓病	乾燥後、煎じて服用・黒焼にして服用	2	9
アサガオ	アサガオ	葉・種子	虫、ムカデ、ハチ刺され・便秘	もんで付ける・生をかんで食べる	3	3
アザミ	アザミ・アジャミ・バラ・ノアザミ	根	風邪・百日ぜき・結核・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・婦人病・産前産後の諸病・リウマチ・夜尿症・止血・せき止め・解熱	乾燥後、煎じて服用・あえ物にする	2	25
アジサイ	アジサイ	葉	神経痛	乾燥後、煎じて服用	0	1
アシタバ	アシタバ	葉	疲労回復・癌	根をアルコール漬 ^{しゅう} け・葉根を煎じて服用・葉を生でお浸しにする	2	0
アズキ	アズキ・アカマメ	種子	便秘	食べる	2	0
アズサ	アズサ	葉	肝臓病	乾燥後、煎じて服用	0	1
アスナロ	アスナロ	葉	じん臓病・肝臓病・心臓病・中風	乾燥後、煎じて服用	2	8
アマチャヅル	アマチャヅル	全草・葉・根	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・肝臓病・神経痛・血圧改善・動脈硬化・疲労回復・栄養補給・利尿・滋養強壮	乾燥後、煎じて服用・茶代用	18	0
アマドコロ	アマドコロ	根茎	栄養補給・滋養強壮	乾燥後、煎じて服用	1	0
アララギ	アララギ・キャラ	葉	高血圧・じん臓病・糖尿病	乾燥後、煎じて服用	1	11
アロエ	アロエ・アラエ	葉・葉汁	切り傷・やけど・虫(ムカデ・ハチ)刺され・かぶれ・かゆみ止め・おでき・出来物・深爪・トゲ抜き・打撲傷・凍傷・破傷風・ただれ・タムシ・化のう止め・じ・歯痛・口内炎・止血・毛生え	皮をむいて付ける・半分 ^{はんぶん} に切って張る・皮をむいて塗る・乾燥して茶に使用・中のぬるぬるを塗る・絞 ^{しぼ} ってガーゼに付けて張る・汁を付ける(塗る)	188	231

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
			胃痛・胃炎・胃かいよう・腹痛・腸炎・胸焼け・酔い止め・二日酔い・のどの痛み・肺病・気付け・肝臓機能改善・婦人病・便秘・疲労回復・栄養補給・滋養強壮・解熱・健胃・解毒・茶代用	搾って汁を飲む・かじる(かむ)・アロエ酒(焼酎に漬ける)・焼酎とみりんを合わせて漬ける・乾燥後、煎じて服用		
アズ	アズ	果実	疲労回復	焼酎漬け	1	0
イカリソウ	イカリソウ	茎葉	精力増強・栄養補給・滋養強壮	乾燥後、煎じて服用	1	0
イタドリ	イタドリ・イタズル・イタズリ・イタンボ・イタンコ	根・花・葉	虫(ハチ・ムカデ)刺され・切り傷・吸い出し・化のう止め・水虫・破傷風・おでき・口内炎	黒くなるまで煎じて塗布・もんで付ける・塩でもんで張る	51	163
			風邪・せき止め・のどの痛み・胃痛・胃炎・胃かいよう・腹痛・腸炎・胸焼け・二日酔い・酔い止め・結核・肺病・便秘・気付け・婦人病・肝臓機能強化・疲労回復・栄養補給・解毒・解熱・利尿・健胃	乾燥後、煎じて服用・漬け物にして食べる		
イチイ	イチイ・アララギ	葉・枝	じん臓病・肝臓病・糖尿病・ろく膜炎	乾燥後、煎じて服用	3	8
イチジク	イチジク	白汁・果実・葉	イボ・アセモ・じ・冷え症・婦人病・血圧改善	切り口から出る白い汁を塗布・乾燥後、煎じて服用・浴湯料	4	9
イチハツ	イチハツ	根	便秘	すって飲む	1	1
イチヤクソウ	ロクテンソウ・ロクテンドメ	葉・全草	じ・血圧改善・滋養強壮	乾燥後、煎じて服用	1	2
イチョウ	イチョウ	葉・樹皮・白汁	骨折痛・関節痛・乳汁不足・癌・血圧改善	乾燥粉末として塗布・キナコと混ぜて塗布・乾燥後、煎じて服用・焼酎漬けを服用	9	1
イスタデ	タデ	葉	暑気当たり・食中毒・打撲傷・解熱	塩でもんで張る・煎じて服用	0	4
イノコズチ	イノコズチ・ヌスツグサ・イノコブタ	根・葉	肝臓病	乾燥後、煎じて服用	0	3
イワタケ	イワタケ	全体	血の道	炊いて食べる	0	2
イワタバコ	イワタバコ・イワジシャ・イワジサ	葉・根	風邪・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・胃かいよう・十二指腸かいよう・心臓病・肺病・黄だん・産前産後の諸病・子宮筋しゅ・癌(胃癌・子宮癌)・婦人病・神経痛・じん臓病・ほうこう炎・胆のう炎・各種結石・中耳炎・解熱・健胃・下痢	乾燥後、煎じて服用・お浸しにしたり、おじやに入れて食べる・刻んで生で食べる・汁を耳に入れる	26	87
ウコン	ウコン	塊根・根	風邪・胃痛・胃炎・高血圧・肝臓病・じん臓病・糖尿病・便秘・癌・血圧改善・滋養強壮・駆お血・健胃	すり下ろして飲む・すり下ろして湯に溶き飲む・粉末にして服用・煎じて服用・焼酎漬けを服用	49	0
ウシハコベ	ハコベ	葉	消炎	もんで汁を飲む	1	0
ウツギ	ウノハナ	枝	腹痛	かんで食べる	0	1

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
ウツボグサ	カゴソウ・タワラグサ・オツボグサ・ロツカクトウ・ウツボグサ・タワラソウ	花穂・地上部	風邪・ハシカ・眼疾患・ほうこう炎・じん臓病・心臓病・便秘・子宮痛・婦人病・利尿・解熱	乾燥後、煎じて服用	10	27
ウド	ウド	根	風邪・ハシカ・解熱	乾燥後、煎じて服用	8	27
ウバユリ	カンゾウ	根	解熱	乾燥後、煎じて服用	1	0
ウメ	ウメ・コウメ	青梅・梅干し・梅肉エキス・梅酢・梅酒・梅シロップ・梅ジャム	風邪・せき止め・頭痛・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・下痢・赤痢・疫痢・チフス・食中毒・食べ過ぎ・二日酔い・乗り物酔い・肝臓病・便秘・血流改善・気付け・夏ばて・熱射病・日射病・疲労回復・栄養補給・滋養強壮・駆お血・健胃・整腸・殺菌	青ウメをすって搾ってドロドロになるまで煮詰める・エキスと果肉を合わせて大豆粒大に丸め、2～3粒飲む・青梅1kgに黒酢1本を加える・ウメを氷砂糖で漬ける・砂糖で炊く・砂糖で漬ける・焼酎漬け、小梅は漬けたまま土用干しする	89	51
		根	トゲ抜き・歯痛・へんとうせん炎・のどの痛み・打撲傷	果肉をこめかみに付ける・患部に張る		
ウラジロ	ウラジロ	葉	血圧改善	乾燥後、煎じて服用	0	1
ウラジロガシ	ウラジロガシ・シラカシ・ハボソガシ・ハボソガシ・イチョウガシ	葉・枝	じん臓結石・胆のう結石・尿路結石・各種結石・肝臓病・心臓病・じん臓病・胆のう炎・糖尿病	乾燥後、煎じて服用	4	22
エノキタケ	エノキタケ	全体	じ	乾燥後、煎じて服用	0	2
エビスグサ	ドクケシ・ドクケシ・ハブチャ・ゲドク	種子	湿しん・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・食中毒・高血圧・健胃・解毒	種子を乾燥して、煎じて服用・茶代用・ドクダミと混ぜると更によい	9	7
オウレン	オウレン	葉・根茎・根	風邪・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・下痢・虫垂炎・じん臓病・肝臓病・胆のう炎・各種結石・黄だん・心臓病・解熱・健胃	乾燥後、煎じて服用・かむ	20	54
オオツツラフジ	ツツラフジ・ツツラ・カズラ・ツツラカズラ	根・つる	風邪・関節炎・神経痛・リウマチ	乾燥後、煎じて服用	2	9
オオバコ	オオバコ・オバコ・ウバコ・オオバ・シャゼンソウ	葉・根・全草	切り傷・吸い出し・おでき・やけど・外耳炎・中耳炎	もんで張る・塩でもんで張る・火であぶって張る・もんで火で温めて巻く・蒸したり焼いたりして当てる・丸めて布に包んで火に入れ、黒く焼いて張る	101	199
			風邪・せき止め・ぜん息・のどの痛み・蓄のう症・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・食べ過ぎ・糖尿病・じん臓病・回虫駆除・血の道・婦人病・冷え症・動脈硬化症予防・心臓病・神経痛・ウミ出し・殺菌・解熱・解毒・利尿・強壮	乾燥後、煎じて服用		
オトギリソウ	オトギリソウ	葉・茎	風邪・腹痛・腰痛・関節痛・筋肉痛・神経痛・じん臓病・心臓	煎じて服用・焼酎漬けを飲む	8	31

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
			病・泌尿器の疾患・うがい薬・解熱			
オナモミ	オナモミ	葉・果実	血圧改善	乾燥後、煎じて服用	0	1
オヘビイチゴ	イツツバ	全草	食中毒	乾燥後、煎じて服用	1	0
オモト	オモト	根	打撲傷・鎮痛・解熱	すり下ろして、張る	1	5
カキドオシ	カキドオシ	葉・茎	糖尿病・中風	乾燥後、煎じて服用	3	1
カキノキ	カキ・シブガキ	根・葉・新芽・果実・干しガキ・渋・へた	ハチ(ムカデ・虫)刺され・やけど・シミ・そばかす・風邪・せき止め・高血圧・肝臓病・二日酔い・しゃっくり・夜尿症・神経痛・リウマチ・結核・血流改善・疲労回復・栄養補給・滋養強壮・駆お血・解熱・利尿	塗る・青い果実の汁を塗る・すりつぶして塗る・乾燥後、煎じて服用・蒸して乾燥後、粉末にして服用・干しガキのへたでも良い・茶代用・へたが1センチ位になったとき採集・落ち葉では便秘になる	57	40
カタクリ	カタクリ	りん茎	滋養強壮	デンプンを熱湯で溶いて食べる	1	0
カニクサ	カニカズラ・シヤミセンカズラ	胞子・葉	アセモ・かぶれ	煎液で洗う	0	3
カボチャ	カボチャ	葉・根	虫刺され・利尿・強壮	葉の汁を付ける	2	2
ガmazミ	ガmazミ	果実	血液の浄化	赤い果実を焼酎漬け	1	0
カマツカ	カマツカ	果実	心臓病	煎液を服用	2	1
カヤ	ガヤ	果実	虫下し	乾燥後、煎じて服用	0	1
カラスウリ	カラスウリ	果汁・果実・根	突き眼・婦人病	つるを切って汁を取る	1	3
カラスビシャク	ハンゲ	りん茎	つわり	ショウガと煎じて服用	0	1
カリガネソウ	オウロトド	葉	虫刺され・外耳炎・中耳炎	もんで汁を付ける	0	2
カリン	カリン	果実	風邪・せき止め・のどの痛み・気管支炎・強壮	カリン酒(焼酎漬け)・ハチミツに漬ける(シロップ)	27	0
カワヤナギ	カワヤナギ	茎・葉・根	打撲傷	煮詰めて塗布する	0	2
カワラタケ	カワラタケ	全体	瘤	カシの木に着生するものを使う	1	1
カワラヨモギ	カワラヨモギ	葉・茎	肝臓病	煎じて服用	2	2
カンアオイ	カンアオイ	全草	風邪・胃炎・解熱	煎じて服用	2	0
カンゾウ	カンゾウ	根・根茎	強壮・症状の緩和	他の薬に入れて服用	3	0
キカラスウリ	キカラスウリ	根	糖尿病	乾燥後、煎じて服用	0	1
キキョウ	キキョウ	根	風邪・せき止め	乾燥後、煎じて服用	3	2
キク	キク	葉	滋養強壮	天ぷらにして食べる	0	1
キササゲ	キササゲ・アズサ	果実	じん臓病・滋養強壮・利尿	乾燥後、煎じて服用	6	24
ギシギシ	シブクサ・ヘビシブクサ・ダイオウ	根・葉	水虫・インキン・タムシ・皮膚病・風邪・頭痛・便秘・胸焼け・二日酔い・腰痛・解熱	根をすり下ろし、酢で練って塗布する・煎液で湿布・乾燥後、煎じて服用(酸っぱい)	9	17
キハダ	キハダ・キワダ・オウバク	葉・樹皮	おでき・胃痛・腹痛・胃炎・腸炎・胃かいよう・健胃・肝臓病・じん臓病・解熱	樹皮を乾燥して、煎じて服用・乾燥粉末として飲む	18	22
キビ	タカキビ	種子	りん病	煎じて服用	0	1
キャベツ	キャベツ	葉	胃痛・胃炎・胃かいよう・十二指腸かいよう・健胃	青汁を飲む	0	4

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
キャラボク	キャラ・キャラノキ	枝葉	性病・糖尿病・じん臓病	煎じて服用	2	2
キュウリ	キュウリ	果実・皮・汁	やけど・日焼け・じん臓病・解熱	搾り汁を瓶に保存・腐らした臭い汁で湿布・焼酎で漬け込んでカラシ漬け・塩漬けにする・乾燥後、煎じて服用・イタドリと共に煎じて服用	10	5
キランソウ	ホネツギソウ	全草	風邪・じん臓病・骨折・打撲傷・神経痛・乳せん炎	塩でもんで火にかけて炊く・ショウユで炊いても良い・これを布で包んで患部を湿布	1	18
キリ	キリ	葉	イボ・打撲傷	葉をもんで汁を付けるか、張る	0	2
キンカン	キンカン	果実	風邪・せき止め・百日ぜき・どの痛み・解熱	キンカン酒・焼酎漬け・砂糖漬け・氷砂糖漬け・ハチミツ漬け・砂糖で炊いて・煎じて服用・湯に入れてザラメを入れて服用	35	28
クコ	クコ	全草・葉・枝・果実	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・肝臓病・高血圧・血圧改善・神経痛・心臓病・じん臓病・不眠・打撲傷・リウマチ・強壮・解毒	乾燥後、煎じて服用・茶代用・クコ酒	12	68
クズ	クズ・クズハ・クズバ	葉	風邪・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・保温・解熱	乾燥後、煎じて服用・お風呂に入れる	2	5
クチナシ	クチナシ	果実	やけど・霜焼け・足の痛み・じ・風邪・せき止め・解熱	乾燥粉末にメリケン粉(更に卵白)を混ぜて張る・乾燥後、煎じて服用	5	21
クマザサ	クマザサ・ススダケ	葉	切り傷・ぜん息、せき止め・止血・心臓病	煎じて服用	3	2
グミ	グユミ	葉	打撲傷・止血	もんで付ける・煎液で湿布	0	3
クララ	クララ	種子・葉・根	胃けいれん・痛み止め・腹痛・回虫駆除(葉)・鎮痛(種子)・解熱(根)	種子を2～3粒かむ・粉末を少し飲む・種子は良く効く	2	4
クリ	クリ	葉	ウルシかぶれ	煎液で洗う	1	0
クルミ	クルミ	果実	水虫	まだ青い果実をたたいて汁を出し患部に塗る	1	0
クロッカス	クロッカス	雌しべ	解熱	乾燥後、水に浮かべて飲む	1	0
クロマメ	クロマメ	種子	貧血	焼酎に漬け、豆を食べたり飲んだり	1	0
クワ	クワ・ヤマゲワ	葉・果実	風邪(根)・動脈硬化・糖尿病・高血圧・強壮	乾燥後、煎じて服用・粉末を服用・焼酎漬けを服用	6	10
ケツメイシ	ハブチャ・ドクケシ	種子	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・解毒	乾燥後、煎じて服用	0	2
ゲンノショウコ	イシャダオシ・イシャイラス・エシャダオシ・ミコシグサ・ゲンノショウコ	葉・茎・全草	おでき・切り傷・じん麻しん・風邪・胃痛・胃かいよう・腹痛・消化不良・腸炎・ぼうこう炎・じん臓病・高血圧・肝臓病・心臓病・神経痛・下痢・便秘・婦	乾燥後、煎じて服用・茶代用・下痢には熱い煎液を、便秘には冷たい煎液を服用	234	250

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
			人病・血流改善・疲労回復・栄養補給・滋養強壮・駆お血・解熱・整腸・解毒			
ケンポナシ	ケンポナシ・テンブナシ	果実	肩こり・関節炎・神経痛・滋養強壮	焼酎漬けを飲む	1	3
コナスビ	コナスビ	全草	おでき	乾燥後、煎じて服用	1	1
コバイケイソウ	ドス	全草	湿しん・皮膚病	浴湯料	0	2
コフキサルノコシカケ	ウメタケ・ウメノキノコ・ウメノキタケ・ウメノコシカケ・ウメマツタケ・サルノコシカケ・オジノコシカケ・オジンノコシカケ・オジンノシリスケ・シリスケ・ウメノコブ・サイワイタケ	全体	胃痛・胃炎・十二指腸かいよう・痛・胃痛・のどの痛・癌予防・高血圧・肝臓病・中風・心臓病・じん臓病・糖尿病・ろく膜炎・血の道・せき止め・健胃・解熱	乾燥後、煎じて服用・粉末にして飲む・粉末とし、オブラートに包んで服用・干して煎じて服用・焼酎漬けを服用	32	129
コブシ	コブシ	つぼみ・果実	蓄のう症	乾燥後、煎じて服用	1	0
ゴボウ	ゴボウ	葉・種子	おでき・吸い出し・虫刺され(葉をもんで張る)・へんとうせん炎・のどの痛み・せき止め・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・虫垂炎(煎じて服用)・黄だん・止血	葉をもんで張る・乾燥後、煎液でうがいする・服用するとウミが出る	5	7
コムギ	メリケン粉・コムギ粉	種子・種子の粉	骨折・ねんざ・痛み止め	酢で練って張る	2	0
コメ	モチゴメ	種子	下痢・ウルシかぶれ	黒焼末を服用・塗布	0	2
コンニャク	コンニャク	塊根	肝臓病・血圧改善	粉末を服用		2
サイシン	サイシン	葉・根	おでき・風邪・頭痛・心臓病・黄だん・解熱	乾燥後、煎じて服用	13	78
サクラ	サクラ	樹皮	百日ぜき・せき止め・糖尿病	乾燥後、煎じて服用	0	4
ザクロ	ザクロ	根	胃痛・胃炎・黄だん・腸炎・神経痛・回虫駆除・条虫駆除・解熱・健胃	乾燥後、煎じて服用・焼酎漬けを服用	2	22
ササ	ササ	葉	せき止め・赤痢・下痢・便秘・解熱	乾燥後、煎じて服用	3	6
ササゲ	アカマメ	種子	産前産後の諸病	炊いて食べる	1	0
サツマイモ	サツマイモ	塊根	便秘	ふかして食べる	2	1
サトイモ	ジイモ・サトイモ・ズイキ・ズキ	地下茎・茎	ムカデ(虫)刺され・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・安産・産前産後の諸病	すり下ろしてガーゼに伸ばして張る・乾燥して食べる	3	3
サフラン	サフラン	花・雄しべ	熱さまし・小児の風邪	乾燥後、茶にして飲む・湯に浸して飲む	7	31
サボテン	サボテン	全草	虫刺され・じん臓病・肝臓病・解熱	煎じて服用	1	2
サルトリイバラ	サンキライ・バラ・マキノハ	葉・根	おでき・風邪・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・神経痛・梅毒・解毒・解熱	乾燥後、煎じて服用	3	12
サンザシ	サンザシ	果実	疲労回復・栄養補給	乾燥後、煎じて服用	1	0

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
サンショウ	サンショウ	果実	虫刺され・高血圧・低血圧・強壯	乾燥後、煎じて服用	1	7
シイタケ	シイタケ・ドンコ	全体	風邪・高血圧・心臓病・癌・下痢・じ・肝臓病・解熱・せき止め	水で戻した汁を服用	4	29
ジギタリス	ジギタリス	葉	心臓病	粉末を飲む	0	1
シキミ	シキビ	葉・果実	結核・打撲傷	もんで付ける	0	2
シソ	アカジソ・シソ・チソ	葉・全草	風邪・せき止め・頭痛・疲労回復・血液の浄化・血流改善・鎮静・強壯	焼酎漬け・ジュースにしてクエン酸を加える・ジュース代わり・煎じて服用	14	14
シャガ	シャガ	全草	食欲不振	煎じて服用	0	1
ジャガイモ	バレイショ	地下茎	やけど・おでき	皮と共にすり下ろしガーゼに伸ばして張る	1	1
シャクナゲ		葉	高血圧・心臓病	乾燥後、煎じて服用	0	14
シャクヤク	シャクヤク	根	脳こうそく・ろく膜炎・解熱	乾燥後、煎じて服用	10	3
ジャノヒゲ	ジャノヒゲ	塊根	下痢	そのまま食べる	0	1
ジュズダマ	ジュズダマ	果実	高血圧・肝臓病	粉末にして服用	0	2
シュロ	シュロ	葉・果実・種子	へんとうせん炎その他熱のある病気一般の解熱・高血圧・蓄のう症・便秘・ぼうこう炎・利尿	乾燥後、煎じて服用(へんとうせんの40度の熱でも2度飲ませると次の日には治っている)	3	8
シュンラン	ホクロ	塊根・全草	解熱	乾燥後、煎じて服用	0	2
ショウガ	ショウガ	根茎・葉・茎	霜焼け・打撲傷・凍傷・風邪・神経痛・へんとうせん炎・解熱	茎を煎じてその汁で患部を湿布する・茎をたたいて汁を出して塗る・乾燥茎葉を熱いお湯に入れそれで温める・入浴時に入れて浴湯料とする	5	15
ショウブ	ショウブ・イワショウブ・タニショウブ	葉・根・根茎	切り傷・打撲傷・風邪・下剤・解熱	汁を塗布する・煎じて服用	1	14
シラカシ	シラカシ・シラガシ・シロカシ・シロガシ・カシ	葉	じん臓病・胆のう炎・各種結石・胃かいよう・便秘・血圧改善・肝臓病・神経痛・皮膚病・利尿	乾燥後、煎じて服用・一週間ぐらい続けて飲むとしばらく休む・茶代用	37	47
スイカ	スイカ	果実・果皮・種子	日焼け・やけど・じん臓病・利尿	果汁を煮詰めてスプーン1杯を飲む・乾燥後、煎じて服用	3	7
スイカズラ	スイカズラ・ニンドウ	花・葉・茎	へんとうせん炎・リウマチ・駆お血	乾燥させて煎じて水に混ぜてうがいする	1	2
スイセン	スイセン	りん茎	おでき・打撲傷・関節痛・神経痛・解熱	すりつぶして塗る	2	36
スイバ	シブクサ・ダイオウ・カラスノパツバ・シブクサ・スイスイバ・メンノシブクサ	根茎	切り傷・皮膚病・水虫	葉をもんで青汁を付ける	1	8
スギ	スギ・スギヤネ・スギヤニ	杉脂・新芽	ヒビ・アカギレ・切り傷・やけど(新芽)・打撲傷・頭痛・花粉症・心臓病・殺菌・排のう	スギヤニを患部に塗る・葉のエキスまたは煎液で湿布・煎液を服用	5	7
スギナ	スギナ・スギメ・ツクシ・マツナ	葉・全草・根	日焼け・ウルシかぶれ・むち打ち症・のどの痛み・糖尿病・肝	茶代用・乾燥後、煎じて服用・塩でもんで患	35	4

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
	マツナグサ		臓病・じん臓病・高血圧・中風・足の痛み・腰痛・化粧水・疲労回復・栄養補給・滋養強壮・利尿	部に張る・アルコールに漬けた液を塗布		
スベリヒユ	ツミキリソウ	全草	日焼けで水膨れになった皮膚・胃炎	乾燥後、煎じて服用	1	1
スマレ	スマレ	花	おでき	すりつぶして張る	1	0
スモモ	スモモ	果実	滋養強壮	焼酎漬けを服用	1	0
セキショウ	タニショウブ	根茎	骨折痛・神経痛	煎液で湿布	1	9
セリ	セリ	全草	風邪・ハシカ	乾燥後、煎じて服用	2	4
センキュウ	センキュウ	根・根茎	頭痛	乾燥後、煎じて服用	0	1
センダン	センダン	果実	胃痛・胃炎・回虫駆除・健胃	乾燥後、煎じて服用	1	5
センブリ	センブリ・センブリ・センブリ	全草	胃痛・胃炎・健胃・腹痛・腸炎・食中毒・胸焼け・下痢・二日酔い・肺病・頭痛・冷え症・疲労回復	乾燥した物を、熱湯をかけて振り出しにする・煎じて服用・振り出しにして服用	127	203
ソバ	ハイ	ソバ殻	肺炎・呼吸困難	ソバ殻を燃やして出来た灰を杯に入れ、水を加えて、その上水を服用	1	2
ダイコン	ダイコン	葉・根	霜焼け・のどの痛み・せき止め・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・肩こり・じ・婦人病・疲労回復・栄養補給・滋養強壮	干した物をサラダ油でいためて、患部に張り包帯を巻いておく(2度と起こらない)・ハチミツと混ぜて出た汁を服用・焼酎漬を服用・カラシ漬け、塩漬けにして食べる	5	15
ダイコンソウ	ダイコンソウ	葉・茎	風邪・胃痛・胃炎・健胃・腹痛・腸炎・ぼうこう炎・利尿・じん臓病・神経痛・胆のう炎・血の道・糖尿病・解熱	乾燥後、煎じて服用	29	112
ダイズ	ダイズ	種子・オカラ	視力回復・貧血・解毒	オカラを乾燥後、煎じて服用・そのまま食べる	2	3
ダイダイ	ダイダイ	果実・果皮	風邪・ぜん息・せき止め・百日ぜき	乾燥後、煎じて服用	1	5
タカネオトギリ	オトギリソウ	全草	強壮・強精	焼酎漬け	1	0
タバコ	タバコ	葉	切り傷・止血・殺虫	もんで張る	1	5
タマネギ	タマネギ	茶色の皮	頭痛・外耳炎・中耳炎・歯痛・不眠・高血圧・精神不安	乾燥後、煎じて服用・刻んでまくら元に置く・2時間ぐらいで効く	8	11
タラノキ	タラ・タラノキ・タラノメ・タロメ・タロネ・タロ・タルメ・タロウ・タロウノメ	根皮・樹皮	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・胃かいよう・糖尿病・じん臓病・癌・肝臓病・高血圧・神経痛・心臓病	乾燥後、煎じて服用・天ぷらにして食べる	21	22
タンポポ	タンポポ	根・葉・全草・種子・花	風邪・頭痛・せき止め・胃痛・胃炎・食中毒・のどに骨が刺さった・肝臓病・高血圧・便秘・栄養補給・催乳・健胃・解熱	乾燥後、煎じて服用・お浸しにして食べる・焼酎漬けを飲む	21	31

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
チドメグサ	チドメグサ	全草	止血	もんで張る	1	0
チャ	チャ・リョウチャ	葉	ムカデ刺され・腹痛・肺病	もんで張る・葉をかむ	3	2
チョウセンニンジン	チョウセンニンジン	根茎・根	疲労回復・強壯	焼酎漬けを服用・乾燥粉末を服用	5	0
ツゲ	ツゲ	アマ肌(内皮)・葉	腹痛	かむ	0	3
ツチアケビ	ヤマシャクジョウ・ツチアケビ	果実・全草	ぼうこう炎・心臓病	焼酎漬けを服用・乾燥後、煎じて服用	5	3
ツユクサ	ツユクサ	葉・茎・朝露	切り傷・熱冷まし・ハチ(虫)刺され・せき止め・ぜん息・心臓病・心筋こうそく・肺気しゅ・血圧改善	葉に付く朝露を塗布するとはれない・乾燥後、煎じて服用	6	19
ツワブキ	ツヤブキ・ツワブキ・ツバブキ	葉	切り傷・おでき・吸い出し・痛み止め・化のう止め・浮しゅ・関節水しゅ・ねんざ・殺菌・解毒	生のまま張る・火であぶって(もんで)張る・塩でもんで張る・塩でもんで火であぶって張る・汁を塗布する	26	23
トウガラシ	トウガラシ	果実	保温	塗布する	2	1
トウチウカソウ	トウチウカソウ	全体	滋養強壯	焼酎漬けを服用	1	0
トウモロコシ	トウモロコシ・ナンバ	毛・種子	じん臓病・ぼうこう炎・糖尿病・心臓病・下痢(黒焼)・利尿・解熱	乾燥後、煎じて服用	13	26
ドクダミ	ジウヤク・ドクダミ	葉・全草・総ほう・根	おでき・ニキビ・シミ・あざ・アセモ・肌荒れ・皮膚病・ヒビ・じんましん・湿しん・吸い出し・切り傷・やけど・トゲ抜き・ムカデ(虫)刺され	葉をゴボウやツワブキの葉で包んで炊いた物を患部に張る・葉を数枚重ねて炭火で焼いてドロドロの軟こうにする・新聞紙に包んで焼く・葉をもんで張る、フキの葉に入れて焼き(火であぶって)、軟こうにする・すりつぶして張る・浴湯料・黒焼を塗る	375	337
			風邪・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・血圧改善・高血圧・便秘・下痢・腰痛・じん臓病・ぼうこう炎・糖尿病・関節水しゅ・関節痛・浮しゅ・肩こり・癌・夏ばて・肝臓病・眼疾患・冷え症・アレルギー・体質改善	乾燥後、煎じて服用・便秘には薄目に煎じる・飲み過ぎると下痢・お風呂に入れる・茶代用・ウイスキーや焼酎に漬けて10倍に薄めて服用・花盛りの時に採集		
			疲労回復・栄養補給・滋養強壯・強精・解熱・解毒・駆お血・利尿	薬酒や煎液に甘草を加えて良い。茶と混ぜても良い・ハチミツに漬けて3カ月		
トチバニンジン	チクセツニンジン・トチバニンジン・ニンジン	根茎・根	風邪・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・不老長寿・疲労回復・栄養補給・強壯・解熱	チョウセンニンジンの代わり・焼酎漬け・煎じて服用	11	12
トチュウ	トチュウ	葉・樹皮	滋養強壯	茶代用	1	0
トネリコ	トネリコ	樹皮	痛風	乾燥後、煎じて服用。振り出す	1	0
ナガイモ	ナガイモ	塊根	肝臓病	すり下ろして服用	1	0
ナス	ナスビ	へた、花	風邪・心臓病・肺炎・菌痛・虫垂炎(花)	塩漬けにし、蒸し焼きまたは黒焼末として服用	1	6

生薬班

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
ナズナ	ナズナ	全草	神経痛	乾燥後、煎じて服用	0	1
ナツフジ	フジ	根	関節炎	乾燥後、煎じて服用	0	2
ナツミカン	ナツミカン	果皮	保温	風呂に入れる	0	1
ナツメ	ナツメ	果実	風邪・せき止め・不眠・痛風・胆のう炎・各種結石	焼酎漬け・蒸して乾燥後、煎じて服用	6	3
ナルコユリ	ナルコユリ	根茎	おでき・解熱	すり下ろして患部に張る	1	0
ナンテン	ナンテン・シロナンテン	葉・果実	風邪・ぜん息・せき止め・のどの痛み・のどの異常・胃痛・胃炎・健胃・腹痛・腸炎・食中毒・便秘・ぼうこう炎・じ(外用)・肝臓病・眼疾患・そこひ・婦人病・催吐・解毒	コップに入れ、熱湯をいれて服用・煎じて服用・塩もみした葉の汁を服用すると吐く	11	29(白) 46(赤)
ニガキ	ニガキ	樹皮	胃痛・胃けいれん	樹皮をかみしめる	1	3
ニシキギ	ニシキギ	葉・樹皮	神経痛・リウマチ	煎液で湿布する	0	3
ニッケイ	ニッキ	根・根皮	風邪・消臭	乾燥後、煎じて服用	2	4
ニラ	ニラ	葉	切り傷・胃痛・胃炎・健胃・腹痛・腸炎・下痢・強壯	茶代用・カユに入れて食べる	3	12
ニワトコ	ホネツギグサ	葉・茎	切り傷・打撲傷・ねんざ・腰痛・関節痛・じん臓病	煎じて塗布する	1	9
ニンジン	ニンジン	根	風邪・血圧改善・糖尿病・心臓病・夜尿症	ジュースにして服用(リングを混ぜても良い)	2	4
ニンニク	ニンニク	りん茎	皮膚病・タムシ・湿しん・風邪・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・血圧改善・へんとうせん炎・強壯	煎じて、煮詰めて粉にする・焼酎漬け(ニンニク酒)・浴湯料	9	17
ネナシカズラ	ネナシカズラ	全草・種子	ぼうこう炎	乾燥後、煎じて服用	1	0
ネムノキ	ネブリコ・コウカ	樹皮	リウマチ・ろく膜炎・肺病	煎液で湿布・黒焼末を塗布	0	4
ノイバラ	イバラ・ハイバラ	果実・根・茎	じん臓病・便秘・駆お血	煎じて服用	0	4
ノキシノブ	ノキシノブ・ノキシグレ	全体	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・癌・肝臓病・心臓病・利尿	乾燥後、煎じて服用	2	17
ノビル	ノビル	りん茎・全草	百日ぜき・食欲不振	生で食べる・黒焼末を服用	1	0
ハコベ	ハコベ・ホコベ・ヒヨコグサ・ヒヨコベ・ホウコベ	茎・葉・全草	打撲傷・胃痛・腹痛・胃炎・腸炎・下痢・心臓病・ぼうこう炎・虫垂炎・強壯・解熱	乾燥後、煎じて服用	9	39
バショウ	バショウ	根	風邪	煎じる	0	2
ハス	レンコン	葉	冷え症	汁を服用	0	1
ハチク	タケ	虫が食べたふん・皮・葉	ただれ・せき止め・下痢(黒焼)・解熱(タケノコの皮)	塗布する・張る・乾燥後、煎じて服用	2	2
ハッカ	ハッカ	葉・全草	解熱・消臭	もんで張る	0	2
ハトムギ	ハトムギ	種子	イボ・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・じん臓病	乾燥後、煎じて服用	0	3
ハブソウ	ハブソウ・ドクケシ	種子	湿しん・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・食中毒・便秘・じん臓病・栄養補給・滋養強壯・解毒	乾燥後、煎じて服用	1	9
ハラン	ハラン	花	高血圧	乾燥後、煎じて服用	0	1
ヒオウギ	ヒオウギ・ヒオオギ	根茎	のどの痛み	乾燥後、煎じて服用	1	2

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
ヒガンバナ	ヒガンバナ・ツプロ・マンジュシャゲ・ベチンコ	果実・りん茎	おでき・虫刺され・吸い出し・あざ・ひざ痛・ねんざ・打撲傷・関節水しゅ・痛み止め・浮しゅ・関節炎・高血圧・神経痛・解熱・鎮痛	すり下ろして(メリケン粉または更に卵白と練って・酢で練って)患部に張る・トウゴマ、メリケン粉と混ぜて張る	16	9
ヒシ	ヒシ	果実	滋養強壯	乾燥後、煎じて服用	1	0
ヒトツバ	ヒトツバ・イッチョウバ	葉	おでき・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・リウマチ・高血圧・解熱	つぶして丸めて紙に包んで蒸し焼きとし、患部に張る・黒焼を服用・煎じて服用	6	26
ビナンカズラ	ビナンカズラ	つる	整髪料(髪を美しくする)	浸出液で洗髪	0	1
ヒノキ	ヒノキ	葉・油	保温・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎	浴湯料・油を服用	0	3
ビヨウヤナギ	ビヨウヤナギ	葉・枝	婦人病	乾燥後、煎じて服用	0	1
ヒヨドリジョウゴ	ジョウゴ	葉・つる	痛	黒焼末を服用	1	0
ビワ	ビワ	葉・果実・種子	かゆみ止め・おでき(体中どこのもでも良い：ポリープも含む)・湿しん・じんましん 風邪・せき止め・のどの痛み・ぜん息・癌・癌予防・高血圧・肝臓病・糖尿病・じん臓病・関節痛・関節水しゅ・ひざ痛・神経痛・腰痛・ねんざ・リウマチ・冷え症 乗り物酔い・保温・頭痛・血流改善・血圧改善・夏ばて・疲労回復・栄養補給・滋養強壯・せき止め・解毒・解熱・健胃・利尿・下痢・鎮痛	あぶって張る・湿布・すり下ろしメリケン粉と水を混ぜてガーゼに伸ばして張る 細かく刻んで、乾燥または生を焼酎漬けして服用・種子の渋皮を除いて日に1個食べる・種子を粉末にして服用(朝晩)・種子を乾燥後、煎じて服用・葉を浴湯料 温めてへそにあてる・葉のつるつるした方を肌やへその上にあておきゅうを据える(一年くらいたった物・葉の裏の毛を除く)・ビワ酒を服用	126	28
フウラン	フウラン	全草	強壯	乾燥後、煎じて服用	0	1
フキ	フキ	葉・根	切り傷・ムカデ(ハチ)刺され・おでき・吸い出し・やけど・打撲傷・肝臓病・止血・解熱・殺菌	葉、根をもんで汁を付ける・もんで傷を押さえる・塩を加えてもむ・蒸し焼きにして張る・汁を服用	59	115
フクジュソウ	ガンジツソウ	根	強心	振り出しにする	0	3
ブクリョウ	ブクリョウ	全体	解熱	乾燥後、煎じて服用	1	0
フユイチゴ	カンイチゴ	葉・茎	風邪・ハシカ・皮膚病・解熱	乾燥後、煎じて服用	0	6
フヨウ	フヨウ	花卉・葉	疲労回復	乾燥後、煎じて服用	1	0
ヘチマ	ヘチマ	茎汁	やけど・化粧水	花が咲いたときの茎の汁を塗布	3	0
ベニバナ	ベニバナ	花卉	せき止め	乾燥後、煎じて服用	1	0
ヘビイチゴ	ヘビイチゴ	果実	よだれ	煎じて服用	0	1
ホウセンカ	ホウセンカ	葉・花	虫(ブヨ・蚊・ハチ・ムカデ)刺され・かゆみ止め・おでき・霜焼け・切り傷・やけど・化のう疾患・化のう止め・痛み止め・神経痛・打撲傷・水虫・心臓病	焼酎漬けを付ける・湿布・服用	47	6

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
			消炎・強壯			
ハウレンソウ	ハウレンソウ	葉	高血圧	炊いて食べる	0	1
ホオズキ	ボンボリ	果実	せき止め	乾燥後、煎じて服用	1	0
ホオノキ	ホウノキ	葉	ものもらい・ウルシ(ハゼ)かぶれ	いぶして煙であぶる	2	0
ボケ	ボケ・シドミ	果実	滋養強壯	焼酎漬けを服用	2	0
ホソバタブ	アオカシ・アオガシ	葉・枝	各種結石	乾燥後、煎じて服用	0	1
ボタン	ボタン	根	解熱	乾燥後、煎じて服用	3	3
ホトトギス	ホトトギス	全草	肺病	乾燥後、煎じて服用	1	0
マキ	マキ	葉・根	霜焼け	乾燥後、煎じて服用	0	2
マサキ	マサキ	葉	ぼうこう炎	乾燥後、煎じて服用	1	0
マタタビ	マタタビ	果実・虫こぶ	食欲不振・関節痛・腰痛・半身不随・血圧改善・脳血栓・神経痛・心臓病・疲労回復・栄養補給・滋養強壯・強精・解熱	焼酎漬けを服用・乾燥後、煎じて服用	35	5
マツ	マツ・アカマツバ	新芽・若葉・マツヤニ(松脂)	ウルシ(ハゼ)かぶれ・皮膚病・吸い出し・霜焼け・風邪・ぜん息・せき止め・胃痛・胃炎・健胃・頭痛・肝臓病・心臓病・神経痛・リウマチ・血圧改善・滋養強壯	煎じて服用・焼酎漬けを服用・煎液で湿布	10	26
マツタケ	マツタケ	全体	安産・産前産後の諸病・食欲不振	食べる	0	4
マンネンタケ	レイシ	全体	胃かしよう	乾燥後、煎じて服用	1	0
ミカン	ミカン	果実・ミカン酢	トゲ抜き・せき止め・保温	浴湯料・ミカンを患部に張ると次の日にトゲがとれる	3	4
ミツバ	ミツバ	根	糖尿病・冷え症	汁に入れる	2	1
ミョウガ	ミョウガ	根・芽	肝硬変・じん臓病・解毒	甘草を加え、洗って、切って、煎じて、服用	1	3
ムギ	ムギホ	穂・茎	風邪・骨折痛	煎じて服用	0	2
ムクゲ	ムクゲ	花	腹痛	乾燥後、煎じて服用	1	0
ムラサキ	シコン	根	消炎	乾燥後、粉末を塗布	1	0
メギ	コトリトマラズ・トリトマ	全体	胃かしよう・強壯	乾燥後、煎じて服用	0	2
メグスリノキ	メグスリノキ	樹木	肝臓病・眼疾患	乾燥後、煎じて服用	1	0
メハジキ	メハジキ	根・茎・葉	眼疾患	煎液で洗う	0	1
モッコク	モッコク	葉	黄だん・じん臓病・強壯	乾燥後、煎じて服用	0	3
モモ	モモ	葉	アセモ・かゆみ止め・疲労回復	煎液で洗う・モモ酒を服用	6	2
モロハイヤ	モロハイヤ	葉	栄養補給・しゅよう・各種かしよう	ゆでて酢ジョウユで食べる・粉末を飲む	6	0
ヤブカンゾウ	ヤブカンゾウ・ノカンゾウ	根	解熱	乾燥後、煎じて服用	1	1
ヤブコウジ	ヤブコウジ	全草	夜尿症・じん臓病	乾燥後、煎じて服用	0	2
ヤマゴボウ	ヤマゴボウ・ヤマゴンニヤク・ヤマコンニヤク	根	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・じん臓病・糖尿病・利尿	みそ汁に入れる	3	28
ヤマシャクヤク	ヤマシャクヤク	根	癌・血流改善・解熱	乾燥後、煎じて服用	2	2
ヤマノイモ	ヤマノイモ・サンヤク	根茎	滋養強壯	すり下ろして飲む	3	0

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
ヤマモモ	ヤマモモ	果実	下痢	焼酎漬けを服用	2	0
ユキノシタ	ユキノシタ	全草・葉	やけど・切り傷・霜焼け・化のう止め・おでき・吸い出し・外耳炎・中耳炎・風邪・のどの痛み・歯痛・胃痛・胃炎・健胃・腹痛・腸炎・高血圧・貧血・気付け・引きつけ・夏ばて・疲労回復・滋養強壮・殺菌・解熱	(塩で)もんで汁を塗る・もんで搾った汁を耳に入れる・もんで足の裏に張る・汁を服用(塩または氷砂糖を加えても良い)・蒸し焼きにして張る・フライにして食べる・乾燥後、煎じて服用	68	70
ユズ	ユズ・ユウ	果実	保温	浴湯料	2	0
ユリ	ユリ	りん茎	切り傷・吸い出し・強壮	食べる・すりつぶして張る	4	0
ヨモギ	ヨゴミ・ヨグミ・ユムギ	葉・モグサ	切り傷・おでき・化のう止め・吸い出し・アセモ・鼻血・蓄のう症(慢性)・殺菌・水虫・じ・便秘	葉をもんで張る・塩でもんで張る(頻繁に替える)・もんで鼻や耳に入れる・煎液を塗布・モグサを張る・煙を出し、肛門に煙をあてる・乾燥後、煎じて風呂に入れる・座布団に入れる	251	227
			頭痛・胃痛・胃かきよう・健胃・婦人病・血の道・冷え症・血圧異常(高血圧・貧血)・血流改善・心臓病・肩こり・腰痛・神経痛・リウマチ・アトピー・かゆみ止め・夏ばて・疲労回復・栄養補給・吸い出し・滋養強壮・駆お血・止血・解熱・解毒・発汗	乾燥後、煎じて服用(甘草を加えても良い)・茶代用・青汁をコップ一杯飲む・青汁を煮詰めてエキスとし服用・焼酎(ウイスキー)漬けを服用		
ラッキョウ	ラッキョウ	りん茎	回虫駆除	食べる	0	1
リンドウ	リンドウ	根・葉	肝臓病	乾燥後、煎じて服用	0	3
ワラビ	ワラビ	葉	毒草(イラクサなど)刺され	もんで汁を塗布	1	0

表8 神山町で得られた動物由来の民間薬

動物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
アオダイショウ	アオダイショウ	全体	結核・滋養強壮	焼いて食べる	1	0
アカトンボ	アカトンボ	全体	やけど	黒焼を塗布	1	0
アシナガバチ	アシナガバチ	巣・幼虫	じん臓病・栄養補給・滋養強壮	乾燥後、煎じて服用・いって食べる	2	1
イカ	イカ	甲	やけど	粉末を服用	0	1
イセエビ	イセエビ	殻	ハシカ	乾燥後、煎じて服用	1	13
イナゴ	イナゴ	全体	滋養強壮	焼いて食べる	0	1
イヌ	イヌ	胆のう	解熱	服用	0	1
イノシシ	イノシシ・シシ	胆のう	胃痛・腹痛・肺炎・滋養強壮・解熱	乾燥・陰干しにして服用	21	8
イモリ	イモリ	胆のう・肝臓	心臓病・強壮・強精	黒焼を服用	1	2
ウサギ	ウサギ	肉・頭	結核・腹痛(煎じる)・精神病・精神不安(頭:黒焼)	骨を砕いて食べる	2	4

動物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
ウシ	ウシ	角・胆のう・牛乳	胃痛(肝臓)・リウマチ・栄養補給(乳豆腐)・解熱	乾燥した胆のうを削って飲む(子供のころいつも家があり、イノシシの胃と言ってだまされたことがある。イノシシの方がよい：イノシシはアメ色、ウシのは黒い)・ウシのお産後の一週間の乳は出荷出来ないのわかしてお酢を入れ乳豆腐にした。紅白に色を付けて近所に配った	3	16
ウナギ	ウナギ	胆のう	眼疾患・小児のかん・心臓病・栄養補給・解熱	生で服用	1	3
カイコ	カイコ	ふん	血圧改善・高血圧・胃痛	乾燥後、粉末として服用	1	4
カエル	カエル・ヒヤクシロ・オンビキ・サンゲントビ	卵・オタマジャクシ・全体	やけど(卵)・小児のかん(焼いて食べる)・じん臓病・ろく膜炎(黒焼)	卵が続いている物を患部に塗布・乾燥後、焼いて食べる・煎じて服用	3	10
カケス	カケス	全体	精神病・精神不安	黒焼を服用	0	1
カタツムリ	カタツムリ・デندنムシ	全体	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・小児のかん(赤ちゃん)・疲労回復・栄養補給・滋養強壮	炭火で焼いて食べる・黒焼にして服用	2	15
カブトムシ	カブトムシ	幼虫	ヒョウソウ(底うみした物)	腹を割って内臓をのけ、患部を入れると冷たく気持ちよく治る	1	0
カマキリ	カマキリ	卵・全体	よだれ(煎じて飲む)・肝臓病・じん臓病・胎毒(黒焼)・じ(塗布)	乾燥後、煎じて服用・黒焼きを塗布	0	10
カラス	カラス	全体	婦人病・精神病・精神不安・下痢(黒焼)	乾燥後、煎じて服用・黒焼きを服用	1	5
カワガラス	カワガラス	全体	頭痛・じん臓病・精神病・精神不安・血の道・婦人病(黒焼)	黒焼を服用	1	9
カワセミ	カワセミ	全体	りん病	黒焼を服用	0	1
カワニナ	ニナ	全体	おでき	つぶして塗布する	0	1
キジ	キジ	ツメ・足	トゲ抜き	ツメを黒焼にして、ご飯と合わせてつぶして塗る	1	1
キツツキ	アカゲラ・キツツキ	全体	頭痛・整腸	黒焼を服用	2	2
キンギョ	キンギョ	全体	百日ぜき	黒焼を服用	0	1
クサギノシンクイガ	クサギナの虫	幼虫全体	精神不安・小児のかん	虫を焼いて(黒焼にして)食べる	1	1
クマ	クマ	胆のう・脂	やけど・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・胃かいよう・肺炎・肝臓病・けいれん・栄養補給・解熱	治療後傷跡が残らない・富山から取り寄せるのに10日もかかったがそれでも治った	18	8
クマバチ	クマバチ	幼虫・巣	じん臓病	焼いて食べる	1	0
クルマエビ	クルマエビ	殻	ハシカ	乾燥後、煎じて服用	0	1
ケラ	オケラ	全体	ろく膜炎	黒焼を服用	0	1
コイ	コイ	全体・皮	乳せん炎(皮を張る)・肺炎・結核・じん臓病(食べる)・血の道	生き血を飲む・炊いて食べる	2	15

動物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
			(生き血)			
コオロギ	コオロギ	全体	赤痢	そのまま飲む	0	1
ゴキブリ	アブラムシ	全体	駆お血	煎じて服用	0	1
サイ	サイ	角	解熱	粉末を服用	1	1
サル	サル	頭・脳・肉・脂	頭痛・赤痢・疫痢・血の道・精神病・精神不安・殺菌・下痢・整腸	焼酎漬け、塩漬け、ミソ漬け等をミソ汁に入れる・焼いて食べる・黒焼にして食べる・炊き詰めて作った脂を塗布(最後に塩を加えて加工)	17	14
サワガニ	カニ・ズガニ・サワガニ	全体	ウルシかぶれ・ハシカ	乾燥し、粉末にして服用・たたいてガーゼにくるんで塗布	2	5
サンショウウオ	サンショウウオ	全体	胃痛・胃炎・小児のかん・肝臓病・健胃・強壯	黒焼にして食べる	2	7
シカ	シカ	角	滋養強壯	煎じて服用	1	0
シジミ	シジミ	全体	肝臓病	汁に入れて食べる	1	0
シマヘビ	シマヘビ	全体	結核・肺病・肝臓病・ろく膜炎・強壯	焼いて食べる	1	24
タカ	タカ	ツメ	肝臓病	煎じて服用	1	0
タニシ	タニシ	全体	おでき・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・小児のかん	焼いて食べる・炊いて食べる	0	3
タヌキ	タヌキ	胆のう・肝臓	湿しん・胃痛・腹痛・腸炎・食中毒・消化不良・小児のかん・引きつけ・気付け・めまい・肺炎・二日酔い・心筋こうそく・肝臓病・てんかん・疲労回復・解熱・健胃・滋養強壯	乾燥し、少し飲む・切って熱い湯に浸して飲む	75	44
ツチガエル	オンビキ・イボガエル	全体	ろく膜炎	黒焼を服用	0	1
ドジョウ	ドジョウ・ドス・ヌマドジョウ	全体	皮膚病・小児のかん・じ	黒焼末を服用・生を飲む・ヌルヌルを塗布	1	5
ナマズ	ナマズ	全体	じん臓病	黒焼を服用	0	2
ナメクジ	ナメクジ	全体	ハチ刺され・虫刺され・かゆみ止め・マムシの傷・切り傷・やけど・水虫・じ・胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・のどの痛み・ぜん息・心臓病・ろく膜炎(砂糖漬け・生のまま飲む)・解毒・解熱	ねばねばを塗る(急いで塗布)・塩をかけて出た汁を塗布・切り傷にはわせる・砂糖漬けを服用	7	27
ニワトリ	ニワトリ	卵・卵油	やけど・糖尿病・高血圧・心臓病・じん臓病・ろく膜炎(生き血)・産前産後の諸病・じ・栄養補給・疲労回復・滋養強壯	卵白を塗布する・卵を米酢に浸し、薄皮を除き服用・初産のあと服用	6	11
ネズミ	ネズミ	全体	夜尿症	黒焼を服用	0	1
ハブ	ハブ	全体	肺病・強壯	1匹を焼いて食べたなら熱が出た。3日も熱が出て、頭の毛が抜けたが病は治った・炊いて食べる。2匹以上は強すぎるので食べてはいけない	1	0

動物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
ヒト	ヒト	尿・母乳	ハチ刺され・突き目	尿をかける・乳を入れる	0	2
ヒドリガモ	アカガシラ	全体	精神病・精神不安	黒焼を服用	2	0
ヒル	ヒル	全体	肩こり	肩の血を吸わす	0	1
ヘビ	ヘビ	抜け殻	肺炎・じ・解熱	煎じて服用	2	3
マムシ	ハメ・ハミ・ハブ・マムシ・ドクヘビ	肉・骨・肝臓・皮・脱皮した皮・胃・心臓・全体	虫刺され・切り傷・おでき・吸い出し・化のう止め・ヒョウソウ・水虫・破傷風・ヨウ・魚の目・タコ・やけど・ねんご・打撲傷・骨折痛・内出血・風邪・胃痛・腹痛・胃かいよう・下痢・食中毒	マムシ酒(ハメ・ハブ酒)(焼酎やブランデーやウイスキーに漬ける)を服用・焼酎漬けを塗布(ハミ酒)・湿布・粉末を飲む・止血には粉末を塗布・キモを生のまま飲む・乾燥後、煎じて服用・細かく切って、いぶした煙を吸う・黒焼を服用	254	372
			せき止め・のどの痛み・ぜん息・へんとうせん炎・結核・外耳炎・中耳炎・熱冷まし・歯痛・肩こり・乳汁不足・糖尿病・肺気しゅ・肺病・肺炎・癌・産前産後の諸病・ろく膜炎・関節痛・鳥目・小児のかん	皮をむいて干して置いて(乾燥後)粉にして食べる・甘草を入れて煎じて服用・付け焼きにして食べる・砂糖ジョウウで食べる・甘辛く炊いて食べる・かば焼き状にして食べる・素焼きを食べる・(細かくして)煎じて服用・骨をあぶって粉にして服用		
			夏ばて・疲労回復・気付け・栄養補給・滋養強壮・強精・せき止め・解熱・殺菌・止血・排のう・解毒	焼酎漬けの皮、または乾燥後、焼酎を塗った皮を張る・乾燥した皮を酢付けにして張る(巻く)・水に浸して戻して張る・生の皮を直接張る・皮を干して煎じて服用・一週間以上、水に浸して泥を吐かせて焼酎漬けにする・5年目ぐらいから・今は用いない、昔泣きながら飲んだことがある。臭い(一人)		
ミツバチ	ハチ	ハチミツ	やけど・ただれ・肝臓病・糖尿病・じ・切れじ(ハチミツを塗布)・解熱	患部に塗布	1	9
ミミズ	ミミズ・カンタラサン	全体	おでき・風邪・ハシカ・外耳炎・中耳炎・小児のかん・解熱	水につけて泥を吐かせ、乾燥して煎じて服用・耳にはわせる・ヌルヌルを付ける・すりつぶして張る・白っぽいミミズを縦に切って土を出し、乾燥後煎じて服用	21	112
ムカデ	ムカデ	全体	虫、ムカデ刺され・切り傷・やけど・おでき・水虫・じ・止血	ムカデを業種油・食用油の中に長く入れておいて(ムカデコウ薬)塗る・つぶして塗る・赤	16	16

動物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
				いのがよい		
ムササビ	モモンガ	全体	滋養強壯	焼酎漬け・黒焼末を服用	1	1
メジロ	メジロ	全体	心臓病・肺炎・結核・ろく膜炎	黒焼を服用	0	7
モグラ	オグロ	全体	胃痛・胃炎・腹痛・腸炎・ぜん息・ろく膜炎・結核・じ・血の道	黒焼を服用	1	11

表9 神山町で得られた鉱物・その他由来の民間薬

鉱物・その他名	地方名	薬用形態	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
アブラ	アブラ	油	ハチ(スズメバチも含む)刺され・やけど	患部に塗布・使い古しのアブラにムカデを5~6匹入れると更によい	1	1
イオウ	イオウ	硫黄	アセモ・インキン・タムシ	浴湯料	0	5
サトウ	サトウ	砂糖	切り傷・やけど	水で溶いて塗る	1	0
シオ	シオ	塩	やけど・腹痛	患部に塗布・塩モグサをする	0	3
ジュウソウ	ジュウソウ	重曹	やけど	患部に塗布	1	0
シヨウセッカイ	シヨウセッカイ	消石灰	やけど	患部に塗布	0	1
シヨウユ	シヨウユ	しょうゆ	やけど・解熱	患部に塗布	17	1
シヨクヨウアブラ	シヨクヨウアブラ	食用油	やけど	患部に塗布	1	0
ツチ	ツチ・アカツチ	土・壁土	やけど・小児のかん	コップに土と水を入れかきまぜて、上澄み液を服用	1	2
ミン	ミン	みそ	切り傷・やけど・しゅ痛・化のう止め・魚の目・たこ・足の痛み・神経痛・解熱	患部に塗る・紙にみそを厚く塗り患部に当てる・みそきゅうをする(ニンニクを置いても良い)・団子にして火で焼き、張る	18	1
ワン	ワン	おわん・漆塗りのわん全体	ウルシかぶれ	赤ちゃんの湯舟に塗り物を入れる	0	1

表10 神山町で得られた動物用薬(植物由来のもの)

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
あおい草 (イネ科・不特定)	青い草	全草	犬の病気	食べさせる	1	0
アセビ	アセビ	枝・葉	牛のシラミ取り、ノミ取り、ウジ殺し、虫殺し、羊、牛の解熱・農薬代わり・害虫退治	煎じて塗布・煎じて飲ませる	7	6
ウメ	ウメ	梅酢	ウシの病気・ウシの熱が出たとき(解熱)・ウシの下痢・ウシの鼻が乾いたとき・くたびれたとき	梅を塩漬けにして出た水(梅酢)を飲ます	6	0
オヘビイチゴ	イツツバ	全草	ウシの病気	エサに混ぜて食べさせる	1	0

植物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
テングタケ	テングタケ	全体	ハエ殺し・殺虫	焼いてにおいを出す		1
トウガラシ	トウガラシ	果実	ニワトリの病気（参考：もち米の保存に赤いトウガラシを入れておくと良い・虫が付かない・防虫）	トウガラシ水を杯に入れてやる	14	6
ドクダミ	ドクダミ	全草	動物に虫がわいたとき	青汁を塗布	1	0
ナス	ナスビ	へた	ウシのイボ	すりつぶして直接付ける	1	0
ニガキ	ニガキ	樹皮	ウシにシラミがわいたとき	煎じた液でふく	1	0
ノキシノブ	ノキシノブ	全体	ウシの病気	煎じて飲ませる	1	0
ビワ	ビワ	新葉	乳牛の下痢・ウシの病気・ウシの解熱・ウシが疲労して食欲が無くなったとき・栄養補給・疲労回復・滋養強壮	刻んでエサに混ぜる	5	0
マタタビ	マタタビ	果実・虫こぶ	猫の病気	死にかけていても治る・炊き出して飲ませる	8	2

表11 神山町で得られた動物用薬（動物由来のもの）

動物名	地方名	薬用部位	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
キジ	キジ	卵	犬が毒を飲んだときに吐かせる	飲ませる	1	0
マムシ	ハミ・マムシ	全体	犬猫の病気・おできに効く・ウシの病気にも食べさせる・動物の病気に用いる	ハミ酒	3	0

表12 神山町で得られた動物用薬（鉱物・その他由来のもの）

鉱物・その他名	地方名	薬用形態	薬効または症状・病名	使用方法	出現回数	
					今回	前回
アブラ	アブラ	油	犬のガス出し	飲ませる	1	0
イオウ	イオウ	硫黄	猫の病気	飲ませる	0	1
シオ	シオ	塩	コイに虫がわいた時	塩をすり込む	2	1
スス	スス・カマドノスス	スス	コイの病気・フナの病気	浮いて死にかけているとき、水に入れる	1	1
セイロガン	セイロガン	正露丸	ニワトリの病気	飲ませる	1	0
ビール	ビール	ビール	ウシに飲ませる・牛が元気になり、毛のつやが良くなる	飲ませる	1	0
ミソ・ビール	ミソ・ビール	ミソ汁・ビール・おカユ	乳牛のお産のあと	ミソ汁をバケツ一杯に溶いて、ビール1本、おカユ5合位食べさせる	1	0